

# 民報あばしり

NO.1083

2016.8.28

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二・四四五八  
F 四三二・四四五七



クリ

## 「ストップの会」雨の中 戦争法の廃止を訴える！

3月に施行した戦争法(安保法制)により『任務遂行のために武器使用を認める』ことになりました。11月に南スーダンに派遣される陸上自衛隊に新たな任務を与えようとしています。

「ストップ！戦争法網走の会」は時折激しい雨が降る中、20日駒場と橋北の両スーパー前



雨の中、平和を訴えるストップの会

で宣伝行動を行いました。  
“平和憲法を守る網走の会”の山本さんは「参議院選挙で3分の2の議席を取ったからといって、何をやってもいいのでしょ

の見本を示しながら説明がありました。市民から「持ち込みごみの料金が極端すぎるのではないか。廃プラスチックが有



「ごみ問題学習会」で説明する市の担当者と集まった市民

## 松浦奮戦メモ

### ごみ問題学習会開催

日本共産党南支部と後援会は、8月19日午前10時から市の梅津課長と近藤係長を迎えて「ごみ問題学習会」を開きました。最初に、松浦市議から6月議会で提案のあったごみ問題を報告し「市民の声を大いに聞いていただきたい」とあいさつがありました。

市の近藤係長から「ごみの新分別方式と料金改定について」の資料をもとに廃プラスチック

先週の奮戦記の中で誤りがありましたので、訂正させていただきます。

「料金算定に当たっては、収集埋立管理経費、起債償還額の3分の1を市民負担に設定しているため、結果として生ごみと容器・包装リサイクルプラスチックが1.6円/L」とあるのは、説明不足でした。正しくは「料金算定に当たっては、収集埋立管理経費、起債償還額の3分の1だと1辺当たり4.0円になるが、改定案は1.6円/Lとし

料化になるのはなぜ？粗大ごみはどうなるの？容器はどの程度濯げばいいの？」などの質問が出されました。又「ごみをどうするかは市民と市が互いに協力するのが大事ではないか」などの意見もありました。最後に、松浦市議からごみ問題の大本には、「生産者の責任があるのに、日本では国が拡大生産者責任制度をやらうとしない問題がある。その結果、地方自治体と住民に負担が重くなっている」と述べ、「みなさんから出されたご意見を議会に反映させたい」と決意が述べられ学習会を終了しました。

### 拡大生産者責任

生産者の責任を、製品が廃棄された後の処理の段階まで拡大する考え方。ごみ問題の切り札として、海外で制度化されているが、日本では財界の抵抗があり未確立。

ている」が正しい表現です。

後段の「結果として、生ごみと容器・包装リサイクルプラスチックが1.6円/L、一般ごみ3.2円/Lとなりますが、」についても「生ごみ4.0円/L、容器・包装リサイクルプラスチック2.11円/Lのところを1.6円/L」が正しく、関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びし訂正します。

## 流水

▼友人の児童文学者・濱野京子さんから送られてきた「空はなに色」をあらためて読み返していました。不良もどき？の中学生のい

とこ美蘭ちゃんがやって来て、振り回されつつも変わっていく主人公ノリちゃんの物語。▼その中に、二人がリズムカルなドラムの音に連れてデモに参加していく様子が軽やかに描かれていて、先日解散したシルズの若者たちを思い浮かべていました。▼読み返そうと思ったきっかけは、地方紙に載った法政大総長・田中優子氏の「自民党ほか改憲勢力が3分の2を超えた。自民党がこの好機を逃すはずがない」「無作為に聞いた人々の半分以上が3分の2というキーワードを知らなかったという報道に背筋が寒くなる」と。また、沖縄の米軍基地問題を取り上げ、多くの日本人の無関心を批判し、事実を知る努力を続けることの重要性を語った文に出合つて。▼政治に主体的に関わる事が自分たちの暮らしを守ることに繋がることを、軽やかに発信するシルズの若者と「空はなに色」の主人公美蘭たち。▼政治に関わらないことが「中立」であるかのように文学の世界も教育の現場もいわれてきた。もちろん今も。それがたぶん為政者にとっては都合がいいのだから。▼政治に無関心に暮らすことが当たり前、と暮らしてきたその「当たり前」をどうやって変えていこうか。▼濱野さんの最新の著書、秘密保護法も戦争法も通ってしまった十数年後の近未来を描いた「すべては平和のために」を読み始めています。(た)